



取扱説明書(保証書付)

シチズン電子体温計

CTE501 / CTE502

この二次元コードはこの説明書の識別用のものです。

予測検温

実測検温

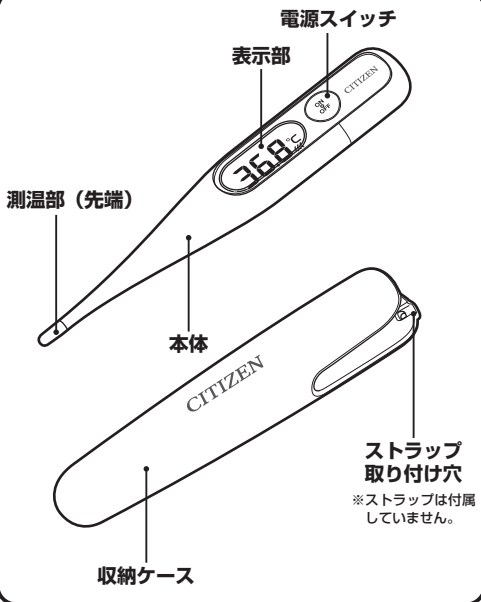
わき専用

CITIZEN

- お買い上げいただき、ありがとうございます。
- 正しくお使いいただくため、ご使用前に本書をお読みください。
- ご使用中は必ず本書をお手元に置いてください。
- 本書は保証書をかねておりますので、大切に保管してください。
- ▲この表示の欄は人が傷害を負ったり物的損害が想定される内容ですので、ご注意ください。

※シチズン電子体温計CTE502にはバックライト機能がついています。CTE501にはバックライト機能はついていません。

各部のなまえ

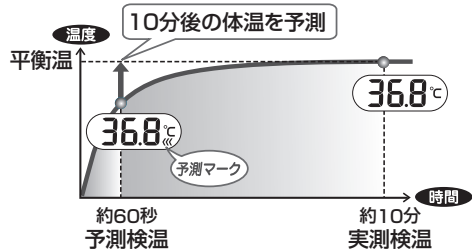


本製品の特長

- 約60秒ではかれる予測式体温計
- 防水仕様なので洗えて清潔
("お手入れ上の注意"を参照)
- 本体は抗菌樹脂を使用
- 暗いところでも見やすい"バックライト機能"
(CTE502に搭載)
- 大きな文字で見やすい液晶表示
- 前回の測定値を表示する"メモリー機能"

予測検温のしくみ

わきを閉じてから、わきの下が体の内部と同じくらいの温度(平衡温)になるのに約10分かかります。
本製品は平衡温を約60秒で予測します。



◆保証規定◆

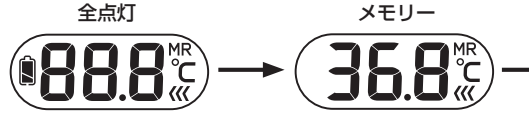
- 有効保証期間は、お買い上げ日から1年間です。
- ご使用中、故障が発生した場合は、お買い上げの販売店または弊社お客様相談室へ、本保証書に現品を添えてお申し出ください。
- ただし、下記の場合は保証期間中でも有料修理になります。
 - ① ご使用上で取り扱いの過誤(落としたり、強いショックを与えるなど)により発生した故障。
 - ② 製品の改造、あるいは不当な修理により発生した故障。
 - ③ 火災、地震、水害等天災地変などの不可抗力による故障および損傷。
 - ④ 故障の原因が本製品以外に起因する場合。
 - ⑤ 保証書のご提示がない場合および必要事項(お買い上げ日、販売店名など)の記入がない場合。
- 本保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 本保証書は再発行いたしません。大切に保管してください。

体温の測りかた

1 電源を入れます。

体温計を収納ケースから出し、電源スイッチを押します。

- CTE502はバックライトが約4秒間点灯します。



表示部が全点灯します。

※この時表示する MR は電池交換のお知らせではありません。

前回の測定値(メモリー)を表示します。

※前回は実測検温の場合は予測マーク「 MR 」は表示しません。

測定準備完了



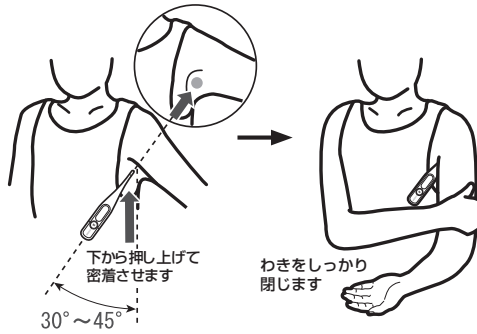
※Lが表示しない時は、測温部(先端)が32℃以上になっている可能性があります。その場合は、測温部(先端)を水で冷やしてから、再度測定してください。

正しく測るために

- 測る前に、わきの下の汗を乾いたタオル等で軽く拭き取ってください。

2 わきの下にはさみます。

わきの下のくぼみの中心部に体温計の測温部(先端)があたるように、斜め下方向(30°~45°)からはさんで、わきをしっかりと閉じます。



正しく測るために

- わきが開かないようにしてください。
ひじを曲げて腕を体に密着させると、わきが開きません。逆の手で腕を軽く押さえると、しっかりとさめます。お子さんの場合は、腕の外側から優しく押さえてください。
- 冬季など体温計が冷えている場合、予測検温の表示が高く出ることがあります。高い表示が出た場合は、体温計を周囲温度になじませてから再度測定してください。

3 体温を測定します。

予測検温中は、予測マーク「 MR 」を表示します。
約60秒で予測検温が終了します。℃が点滅から点灯へ変わり、ブザーが3回鳴ります。

※予測マークが表示していない場合は、再度測定してください。

予測検温後の表示



正しく測るために

- 予測検温のあと、体温計を取り出さずに検温を続けます。
検温開始から約3分後に実測表示に切り替わります。
約10分後にブザーが5回鳴り、実測検温が終了します。



※より正確な体温測定をするときは、実測検温をしてください。

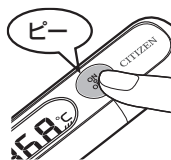
- CTE502は、予測/実測検温が終了するとバックライトが約2秒間点灯します。

4 電源を入れます。

電源スイッチを押して電源を切ります。

- CTE502はバックライトが約2秒間点灯し、電源が切れます。

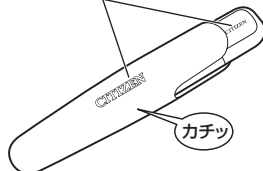
※測温部(先端)をきれいにしてから、収納ケースにしまってください。



5 本体を収納ケースに入れます。

本体と収納ケースのロゴの向きを合わせて、本体を収納ケースにカチッと音がするまで差し込みます。

ロゴの向きをあわせませす。



保証書

CITIZEN

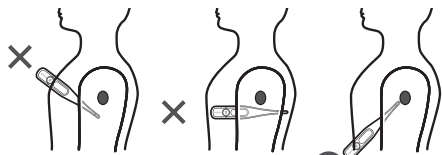
このたびは、シチズン電子体温計をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。取扱説明書にもとづく通常の取扱いにおいて、万一保証期間内に故障が生じた場合は、本保証書を現品に添えて、お買い上げの販売店または弊社までご送付ください。保証期間内に限り、無料で修理・調整させていただきます。お客様にご記入いただいた本保証書は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検のために記載内容を参照させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

型式	CTE501	CTE502
お客様お名前	様	TEL - -
ご住所	〒	
※以下につきましては、必ず販売店にてご記入、ご捺印をお願いいたします。		
お買い上げ日	年 月 日	
販売店名		
保証期間	お買い上げ日より1年間	
製造販売元	シチズン・システムズ株式会社	
	〒108-8511 東京都西東京市田無町6-1-12	

※保証書: 本製品は弊社の定められた検査に合格しております。

こんなときは正しく測れません

- 正しい位置に入っていない場合



わきの中心から外れてしまう。 測温部(先端)が出てしまう。 正しい位置。

※おもて面の「●わきの下にはさめます。」を参照して、体温計を正しい位置に入れてください。

- わきの下以外での検温
本製品はわき専用です。わきの下以外(口中など)では、使用しないでください。
- 入浴・運動・飲食直後など
入浴、運動、食事、お茶などのあとは、体温が上がっています。約30分間は検温を避けてください。
- 汗をかいた状態
汗でぬれていると実際よりも低い体温を示すことがあります。汗をかいたままの検温は避けてください。
測る前に、わきの下の汗を乾いたタオル等で軽く拭き取ってください。
- 起床直後
起床直後に動いた場合は、比較的激しく体温が上昇しますので、検温は避けてください。
起床直後に検温する場合は、動き出す前の安静時か、30分以上経ってから検温してください。
- 検温中に動く
検温中に体温計が動くと正しく測定できません。検温中は安静にしてください。
- 冬季など体温計が冷えている場合、予測検温の表示が高くでることがあります。高い表示が出た場合は、体温計を周囲温度になじませてから再度測定してください。
- 続けて検温する場合は、電源を切り、1分以上放置してからご使用ください。

お手入れ上の注意

- 測温部(先端)を消毒する場合には、消毒用アルコールを含ませたガーゼ等で軽く拭いてください。また、測温部(先端)を長時間アルコールに浸漬したり、熱湯(50℃を超えるお湯)で消毒しないでください。故障の原因となります。
- 表示部およびその周辺は、消毒用アルコールを含ませたガーゼ等で拭かないでください。変色の原因となります。
- ご使用後は必ず清潔にして(水分をよく拭き取って)付属の収納ケースに保管してください。
- 汚れがひどい場合は、中性洗剤を含ませた布をよく絞ってから拭き取ってください。シンナーやベンジン、アルキルジアミノエチルグリシン塩酸塩、クロルヘキシジングルコン酸塩、次亜塩素酸ナトリウムなどは絶対に使わないでください。変色、変質、変形や故障の原因となります。
- イソプロパノールやエタノールに長時間(およそ30分以上)浸漬させた場合、体温計が変形する可能性があります。
- 超音波洗浄はしないでください。故障の原因となります。
- 水洗いをおこなう場合は、洗面器等に貯めた水に体温計を浸してから、汚れを拭き取るようにしてください。本品は、IPX7およびJIS T 1140:2014に準じた防浸規格に適合しておりますが、本規格では流水等の高い水圧や、長時間の浸漬については保障されていません。



体温ワンポイントメモ

- いつもより検温値が高いのですが3~5分程度の実測検温と比べていませんか?
予測検温はわきを閉じてからわきの下が十分に温まる10分後の温度(平衡温)を予測して表示しています。
- 人の体温
大人の平均体温は約36.8℃で、幼児は大人より高め体温と言われています。また、1日中の体温の変動も大きくなっています。ふだんの検温で平熱の範囲を確認しておいてください。
- 検温はわきの下の正しい位置で
体温はわきの下の正しい位置で異なりますので、常にわきの下の正しい位置で測ってください。
- 平熱を知っておきましょう
平熱は個人差もあるのですが、ふだんから検温を心がけ、元気なときの体温を知っておきましょう。

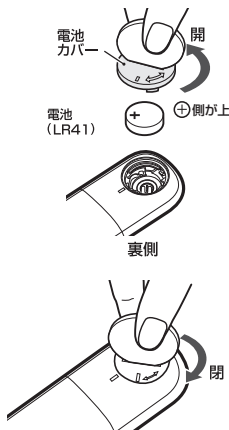
取扱い上の注意

- 体温計を修理・改造・分解しないでください。事故や故障の原因となります。
- 測温部(先端)などを舐めたり、噛んだり、測温部(先端)を持って振ったりしないでください。また、測温部(先端)で目や突かないように注意してください。事故や故障の原因となります。
- 高温や直射日光の当たるところ、湿気の多いところ、ほこりの多いところなどの保管は避けてください。事故や故障の原因となります。
- 人の体温測定以外には使用しないでください。故障の原因となります。
- 無理に曲げたり、落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 検温結果から、自分で診断したり治療をしないでください。必ず医師に相談し、指導を受けてください。
- お子様だけで使わせしないでください。事故や故障の原因となります。
- 低温環境で測定した場合は、測定完了までの時間が長くなる場合があります。

電池交換の方法と注意

電池交換の手順

- ① コインなどを電池カバーの溝に入れ、反時計回り(約140度)にまわしてください。
- ② 電池カバーが上がってきますので、手で取り外してください。
- ③ 古い電池を取り出してください。
- ④ 電池の⊕側を上にして新しい電池をセットしてください。
- ⑤ 電池カバー側の●印と本体側の●印を合わせて、カバーを上から押さながらコイン等で時計回りに元の位置までまわしてください。



危険

- 誤って電池、電池カバーなどを飲み込んでしまった場合、あるいは飲み込んだおそれがある場合は、医師に連絡し、指示を受けてください。

電池交換の注意

- 電池および電池カバーなどはお様がけがをしたり、飲み込まないように十分に注意してください。
- 電池の点滅したら、お早めに交換してください。
電池の点灯すると、検温ができなくなります。
- 電池はLR41です。なお、付属の電池はモニター用(機能確認用)ですので電池寿命が短い場合があります。
- 使用済みの電池は、お住まいの自治体で決められた廃棄方法に従って、正しく処分してください。
- 長期間使用しない場合、電池は取り出して保管してください。

本製品の仕様

種類	電子体温計 予測式 一般用 防浸形
分類	内部電源機器・BF形装着部
検温部位	わき下
定格および電源	DC1.5V --- (---: 直流)、LR41 (192) タイプ相当 1個
消費電力	1.5 mW
電池寿命	CTE501 (予測: 約2500回、実測: 約800回) CTE502 (予測: 約1000回、実測: 約500回)
体温表示	数字3桁+℃、表示単位0.1℃
最大許容誤差	±0.1℃ (恒温水槽で実測測定した場合)
測温範囲	32.0℃~42.0℃
質量	約15g (電池含む)
寸法	約20 (幅) × 125 (長さ) × 12.5 (厚さ) mm
防水性	IPX7、JIS T 1140:2014による(防浸形)
付加機能	メモリー機能、電源自動OFF、バックライト (CTE502)
使用環境	周囲温度: 10~40℃ 相対湿度: 30~85% RH
保管条件	周囲温度: -20~60℃ 相対湿度: 95% RH 以下
付属品	収納ケース、モニター用電池(内蔵)、取扱説明書(保証書付)、医療機器添付文書/EMC技術資料

- ※ 本製品、および取り出した古い電池を廃棄する場合は、お住まいの自治体のルールにもとづいて正しく処理してください。
- ※ 取扱説明書に記載した以外の使用方法および製造業者以外によっておこなわれた修理、改造、再調整などについて、当社はその責任を負いません。
- ※ 本製品はEMC規格 IEC 60601-1-2:2014+A1:2020に適合しています。[EMC適合]
- ※ 本製品はJIS T 1140:2014に適合しています。
- ※ 本製品は改良のため、予告なしに仕様変更する事があります。
- ※ IPX7とは、IEC 60529によって規定された水に対する保護を示しており、1mの深さに30分間浸漬させても有害な影響を生じる量の水が製品内に侵入されないように保護されています。

製造販売元 **シチズン システムズ株式会社**
 医療機器認証番号 223ADBZX00050000
 (販売名:シチズン電子体温計 CTE501)
 医療機器認証番号 223ADBZX00051000
 (販売名:シチズン電子体温計 CTE502)
 CITIZEN、健康予約はシチズン時計株式会社の登録商標です。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

商品に関するご相談、お問い合わせは、弊社お客様相談室でお受けいたします。

受付時間: 10~17時
月~金(祝祭日、年末年始を除く)

0120-88-6295

通話料金は無料です。

測定ができないときは

故障と疑われる場合には、まず下記の項目について点検をお願いします。それでも正常に作動しないときは、保証規定をお読みの上、修理・サービスをお申しつけください。

こんなとき	点検するところ	直しかた
電源スイッチを押しても何も表示しない	電池が正しく入っていますか? 電池が消耗していませんか?	「電池交換の方法と注意」を参照して、正しく入れ直してください。 新しい電池に交換してください。
Er.1	・測温部(先端)がわきの下から外れていませんか? ・測定前に体温計が低温環境に保管されていませんか? ・測定中の周囲温度が低く、10℃未満ではありませんか?	しばらく時間をおいて、使用環境(10~40℃)にて本取扱説明書のおもて面の操作方法に従い、再度測定してください。
Er.2	・測定前の周囲温度が高くありませんか? ・連続して測定していませんか? ・℃が点滅する前にわきの下にはさんでいますか?	測温部(先端)を水で冷やしてから、本取扱説明書のおもて面の操作方法に従い、再度測定してください。
Er.3	センサー回路の断線等で計測回路に異常があった場合	弊社お客様相談室にご相談ください。

E-mail : support@systems.citizen.co.jp
<https://csj.citizen.co.jp>